

FUSING INNOVATION

会社案内

TOHKAI THERMO



衣服に価値を付加する芯地技術

東海サ-モ株式会社

<http://www.thermofix.co.jp/>

〈お問い合わせ〉 東海サ-モ株式会社 本社営業部・東京支店・大阪営業所 まで、ご遠慮なくお問い合わせください。



衣服に価値を付加する芯地技術

東海サ-モ株式会社

FUSING INNOVATION

技術の先に見えてくるもの。

衣料用毛芯地メーカーとして1958年に誕生した東海サーモ株式会社。

半世紀を越えるその歩みは、常に「新しいビジネスへのチャレンジ」の繰り返しでした。

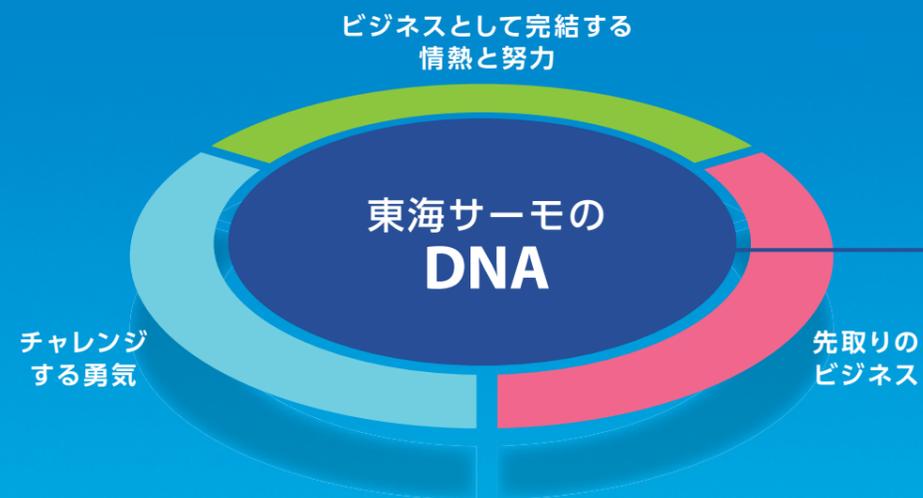
当社がこれまで送り出してきた新発想の商品は、国内のアパレル業界に新風を吹き込んできました。

FUSING INNOVATION = 進化する接着技術 を企業コンセプトに、

当社は接着技術の多方面への応用を柱として展開し、

「多様な顧客のビジネスニーズに最大限貢献し得るテクニカルテキスタイルメーカー」を

めざしていきます。



提案力

新たな機能の付加、芯地と副資材のセット提供など、お客様ニーズに合わせた提案を行っています。



私たちの強み Advantage



研究開発

さまざまなフィールドで役立つ製品・技術を創造していきます。



国内一貫生産

すべての工程において熟練した職人の目と技でジャパンクオリティを実現しています。

ものづくりを通じて、 お客様ビジネスや社会に新しい価値を

当社の歴史は1958年、岐阜県大垣市に東海紡織株式会社を創業したことにさかのぼります。毛芯地メーカーとしては後発ながら、東海紡織はお客様ファーストの対応力と、チャレンジ精神に立脚した製品開発力を強みに地歩を固め、1967年には現在の本社に工場を建設しました。転機が訪れたのはちょうどこの頃。先代社長の浅野重雄がヨーロッパを視察し、接着芯地に出会ったことがきっかけです。「これからは接着芯地の時代が来る」。そう確信した先代は、ドイツ・クフナー社からの技術導入をもとに、接着芯地の自社ブランド「サーモフィックス®」を立ち上げました。その後、アパレルの進化に呼応する形で接着芯地の製品バリエーションを増やしていくと同時に、これまで培った固有の接着技術に新たな用途と可能性を見出す取り組みを展開。自動車産業をはじめ、さまざまな分野へ事業フィールドを広げています。また、急速に進むグローバル化にもいち早く対応し、広く海外展開も行っていました。東海サーモが考えるものづくりとは、世の中やお客様のニーズをどこよりも早く、どこよりも良いたちにしていくこと。この姿勢は現在も脈々と受け継がれており、「新しいビジネスにチャレンジする情熱」は当社の基本的なDNAとなっています。これからも東海サーモらしいものづくりを追求し、お客様ビジネスの発展と豊かな社会づくりに貢献していきたいと考えています。皆様の変わらぬご指導とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長
浅野 圭一





01 事業内容

衣料資材

Clothing materials

芯地・副資材の開発と多彩な技術提案で、
多様化するファッションをサポート。



■ 接着芯地

Fusible interlining

接着芯地とは

基布に熱可塑性の接着剤を塗布した芯地。
合理化が進むアパレルの生産現場では広く普及しています。
東海サーモでは業界に先駆けて
1970年代にヨーロッパから技術導入をし、
接着芯地の自社ブランド「サーモフィックス®」を発表しました。

ラインナップ



レディース向け

薄手から厚手(14~150g)まで豊富な
バリエーションによる提案が可能です。



メンズ向け

異なる個性を持った数種類の原糸を
複合し、高級感、上質感の演出が可能
です。



ユニホーム向け

優れた耐久性により、100℃での製品
染めも可能。レンタルユニホームに
求められるクリーニング耐久性もクリア
しています。



カジュアル向け

ドライクリーニングから家庭での水
洗い・温水洗いまで対応な商品レンジ
をご用意しています。

■ 毛芯地

Hair interlining

毛芯地とは

獣毛やウールなど数種の材料で作られた芯地。
スーツやジャケットのフロント部分「前身頃」を作るうえで
重要な役割を担う副資材です。
用途に応じた毛芯地を選ぶ事により
美しいシルエットを形づくるすることができます。

※獣毛:羊、ラクダ、カラクルなどの毛。ハリ・コシ・吸湿性に優れた原材料名。



ラインナップ



こだわり毛芯
<タイプG.W.>

吟味された獣毛を原料とした保型性
に優れたタイプ



清涼・軽量毛芯
<エアリーライト>

目付100g 軽く、ソフトなタイプ



ウォッシュابل毛芯
<ネオ>

家庭洗濯に対応するタイプ

■ 副資材

Garment Accessories

副資材とは

東海サーモでは、芯地以外にも衣服をより美しく仕上げる
さまざまな製品を取り扱っております。
お客様のニーズに合わせて、最適な資材をご提案いたします。
お気軽にご相談ください。

※一部製品は、当社のオンラインショップで1個からお買い求めいただけます。



ラインナップ



衿綿

袖付け部分のシルエットを保持し、
ボリューム感を演出。ご希望の風合い
や機能に合わせて幅広い製品をご用意
しています。



伸び止めテープ

芯地メーカーならではの品揃え。アパ
レル製品すべてに対応できるテープ
品種をご用意しております。



インサイドベルト

適度なストレッチ性と寸法安定性、
耐洗濯性が特徴。ボトムのウエスト
部分をより美しく、心地よく演出します。



ショルダーパット

軽量タイプ、ウォッシュابلタイプなど、
バラエティ豊かなラインナップ。美しい
ショルダーラインを形づくれます。



02 事業内容

産業資材

Industrial materials

芯地製造で培ってきた接着加工技術を
様々な産業分野へ

製品・技術ピックアップ



01 熱可塑性接着シート



東海サーモのオリジナルブランド「Fusec(フューゼック)」として展開している、ホットメルト接着樹脂をシート化した製品。適正な温度・プレス・時間を加えることにより、接着が完了します。初期接着性と汎用性、経済性に優れ、かつ無溶剤型であるため、換気の必要がありません。人と地球に優しい接着シートです。

◎製品のポイント

- 1. 環境に優しい**
無溶剤型の接着剤で、換気の必要がありません。
- 2. 加熱・加圧で接着**
適正な温度・プレス・時間を加えれば接着が完了。
- 3. 通気性がある**
網目構造のネット・ウェブシリーズなら通気性抜群。
- 4. 幅広い素材に対応**
衣料、自動車内装材をはじめ、幅広くご提案が可能。

02 自動車の遮光生地

独自の技術とノウハウを活かして開発された遮光生地。安全性・耐久性・耐火性・快適性など、極めて高度な要件が求められる自動車のパノラマサンルーフ用内装材として採用されています。

03 皮革裏打材

天然素材のため部位や使用環境によって伸縮性のばらつきが見られる皮革専用の裏打材。たて・よこの伸度を一定にし、片面にホットメルト接着剤を塗布したもので、熱プレスで皮革にラミネートすることにより、皮革の伸度を一定にします。

04 ラミネート加工

布帛、フィルムなど2種類以上の素材を、特殊技術を用いた片面接着または両面接着で貼り合わせ、単体では担うことができない新たな機能や価値を付与する加工が施されています。

TOHKAI THERMO

会社概要 Overview

社名	東海サーモ株式会社
設立	1958年10月
代表者	代表取締役社長 浅野圭一
資本金	1億円
売上高	54億7000万円(グループ計/2016年5月実績)
従業員数	190名
本社	岐阜県大垣市大井4-53
事業内容	1. 衣料資材事業(接着芯地、毛芯地、副資材の製造・販売) 2. 産業資材事業(自動車内装材・熱可塑性接着シートの製造・販売、ボンディング・ラミネート加工・販売) 3. 接着技術とその設備を活用した新規開発

事業所・関連会社 Branch & Associated

国内事業所

本社/本社工場	〒503-0836 岐阜県大垣市大井4丁目53 TEL. 0584-89-3111(代)/FAX. 0584-89-4172
西大垣工場	〒503-0974 岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5-7 TEL. 0584-81-8111/FAX. 0584-81-9750
東京支店	〒101-0032 東京都千代田区岩本町3丁目11-8 岩本町ビル5F TEL. 03-3863-7375/FAX. 03-3863-7360
大阪営業所	〒540-0024 大阪市中央区南新町1丁目4-1 TTNビル302号 TEL. 06-6941-8220/FAX. 06-6941-6022

関連会社

莎摩服装輔料上海有限公司 上海事務所・工場	上海市嘉定区馬陸鎮包橋村沈石路129号 TEL. 021-69156225/FAX. 021-62735647
東海サーモ(香港) 有限公司	Flat A., 14/F., Shield Ind. Centre, 84-92 Chai Wan Kok Street, Tsuen Wan, N.T., Hong Kong TEL. 852-24984471/FAX. 852-24136183



東海サーモのあゆみ History

1958年10月	資本金300万円にて「東海紡織株式会社」設立
1961年 3月	毛芯地のオリジナル製品「タイプG.W.」発表
1967年 3月	大垣市大井4丁目53番地に本社工場移転
1969年 3月	ヨーロッパメーカーより技術導入し接着芯地ブランド「サーモフィックス®」を発表
1972年 6月	社名を「東海サーモ株式会社」に変更
1975年 8月	東京営業所開設
1976年 6月	大阪営業所開設
1977年 4月	IACDE(国際衣服デザイナー協会)企業会員に加入
1979年 7月	東海サーモ(香港)有限公司を設立
1983年11月	日本初の接着樹脂「ダブルスポット」タイプ発表
1985年 5月	日本初のストレッチ加工糸接着芯地「エトール」タイプ発表
1988年 2月	業界初の薄手接着芯地「エトール(ET10)」発表
1989年 1月	第22回社団法人中小企業研究センター賞(現「グッドカンパニー大賞」)受賞
1992年 5月	東海サーモアパレル技術振興基金創設
1993年 3月	西大垣工場完成(毛芯地製造部全面移転)
1994年 4月	(東海紗摩株式会社)上海事務所開設
1996年10月	次世代毛芯地「NEO(ネオ)」発表
1996年12月	業界初の商品規格巾60インチ「グローバルスタンダード接着芯地」発表
1997年 8月	代表取締役社長に浅野圭一が就任
2000年 6月	独自で東海紗摩服装輔料貿易(上海)有限公司設立
2001年 1月	複合芯地「EQタイプ」を特許登録
2001年 3月	副資材「イルテリ」〜サーモ要るだけ丸受けシステム〜をスタート
2002年 3月	上海市嘉定区に莎摩服装輔料(上海)有限公司設立
2002年10月	「エコテックス規格100」を取得
2002年11月	副資材のインターネット販売「サーモショップ」開設
2003年 9月	ISO9001品質保証国際規格認証取得
2004年 1月	新世代増芯「レノバ」を東洋紡と開発
2004年 4月	新規事業として産業資材事業部スタート
2005年12月	新開発樹脂「GFコーティング(GLOBAL FUSION)」発表
2006年 1月	スーパーマイクロドットコーティング芯地を問題解決商品として販売
2007年10月	シャツ芯地分野へ進出
2008年10月	創業50周年を迎える
2009年12月	モアレ防止機能接着芯地(特許)、グラデーション毛芯発表
2011年11月	ドットボンディング加工開始
2013年 8月	自動車内装材の量産開始



▲1969年 サーマフィックス発表会の様子



▲IACDEの認定証